

## 第 62 回入学式 式辞

本日ここに、保護者会、後援会、同窓会の各会長様をはじめとするご来賓の方々、並びに保護者の皆様をお迎えし、前橋育英高等学校の第 62 回入学式を挙行できますことを、本校の教職員を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました 448 名の皆さん、入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様におかれましては、お子様が健やかに成長し高校生になった喜びは、ひとしおのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

本校は、1963 年に開校し、昨年度 60 周年を迎えました。本校の目指す学校像は、どんな時代にあっても「正直・純潔・無私・愛」の道義標準に基づく道德理念を培い、知育・徳育・体育をもって人格の陶冶と錬成を図り、つねに国際的視野に立って、世界平和と社会の福祉に貢献できる人材の育成を期することとし、これを本校の建学の精神としています。そして、現在、本校は全国レベルで活躍する部活動があり、スポーツ強豪校として、また、学習面においても有名国公立大学への進学実績を積み上げている学校として知られる存在になりました。卒業生は 2 万 7 千名を超え、県内はもとより、全国、世界各地で様々な分野において活躍しているところであります。

新入生の皆さんは、本日本校で新しいスタートを切ります。これからの 3 年間は皆さんの人生の土台をつくる貴重な 3 年間となります。学習や部活動、学校行事に大いに励み、高校生活を充実したものにしたいと願っています。

では、充実した 3 年間を送るために、3 つのことを話します。

1 つ目は、「夢をもってほしい」ということです。皆さんは夢を持っているでしょうか。夢なんて叶えられる人はほんの一握りだという人がいます。確かに夢は、今現在の自分の力では実現できないことではあります。しかし、夢は叶わないのではなく、叶うまで諦めずに追いつけられる人が一握りなのであり、夢は諦めない限り実現の可能性があると思っています。ここに集う皆さんは、是非大きな夢を抱き、その実現のために一歩ずつ着実に歩みを進めて欲しいと願っています。一人一人が夢を追いつけ実現させることによって、本校も大きく飛躍できると考えています。

2つ目は、「友達をたくさん作ってほしい」ということです。今まで皆さんは、もしかしたら同じ地域の人、気の合う人、考え方の似てる人を友達にしてきていたかもしれません。しかし、日本の将来を担う皆さんは、これから先は、育った環境がまったく違う人、文化が違う人、そして多くの国の人たちと、ともに手を携え生きていく必要があります。そのためには互いの違いを理解し、認め合い、最適解を見つけていかななくてはなりません。そのためにはコミュニケーション能力が一層重要になってきます。本校には、中学校までと違い県内全域、さらには全国から生徒が集まっています。ぜひ友達をたくさん作り、その友達と語り、お互いを理解し、高め合っていく存在になって欲しいと思います。

3つ目に、「高校生活を楽しんでほしい」ということを付け加えたいと思います。1つ目の、夢の実現のために必要なことを楽しく取り組むことができれば何よりですが、何かに打ち込めば当然辛いこともあり、そのレベルが上がればそれに比例するかのようにつらいことも増えていきます。そうした中で、辛いことや苦しい事も含めて楽しむことのできる人が成長を続けられ、夢の実現につながられる人だと思います。一人だけでは成し得ないかもしれません。その時やはり必要なのは、2つ目に話した友達です。友達と切磋琢磨しながら壁を乗り越えて、楽しみながら、より高見を目指してほしいと思います。

新入生の皆さんには、前橋育英高校の生徒であることに誇りと覚悟を持ち、それぞれの夢に向かって、自ら磨き、鍛え、成長していくことができるよう祈念しています。教職員も全力で皆さんを応援します。

結びに、ご来賓並びに保護者の皆様に、本校の教育活動に対する特段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和6年4月8日

学校法人 群馬育英学園

前橋育英高等学校

校長 二渡 諭司